市長選挙

小笠原現市長が４選

田中氏に1219票差

任期満了に伴う南国市長選挙の投票が十一月一日行われ、午後八時から市役所大会議室で即日開票の結果、現職の保守系無所属、小笠原喜郎氏が、新人の革新系無所属、田中平氏を千二百十九票差で破り四選を決めました。

選挙後、初登庁する小笠原市長

依然低い市民の関心

投票は午前七時から市内四十五投票所で一斉に行われました。

今回の選挙は、市政の総決算と四選を目指す小笠原氏と、十四年ぶりの革新統一候補田中氏が激戦を繰り広げました。また、財政、同和、空港、し尿処理、教育など多くの難問を抱えながら六十四年には市政三十周年を迎え、高知県の表玄関、県下第二の都市として飛躍しようとしている現状にもかかわらず、有権者の関心は今一つ。投票率は前回を少し上回ったものの、史上二番目に低い五四・四三％にとどまりました。特に岡豊地区の四十一投票所（小蓮、定林寺、滝本、浦原）は三四・二二％、前回の市長選挙に続き、今回も三十％台を記録しました。

開票は午後八時から市役所大会議室で両候補の支持者や市民が見守るなか行われ、九時四十五分に終了。小笠原氏が田中氏を千二百十九票差の小差で破り、四選を果たしました。

市議会議員選挙と市長選挙の投票率を見る限りでは、市民の行政に対する無関心は依然続いており、今後都市化が進むことを考えても、いかに市政に関心を向けるかが大きな問題であると言えそうです。

開票結果

当日有権者数＝三万四千九百九十人、投票総数＝一万九千四十四票、有効投票＝一万八千八百八十七票、無効投票＝百五十七票、投票率＝五四・四三％

当　小笠原喜郎（76）　無現　二〇五三票

田中　平（60）　無新　公三四票

市長に聞く

四期目を迎えて

活力ある南国市を目指して

来たるべき二十一世紀の南国市を豊かにするためには、まず第一に財政構造の健全化と諸施策の基礎づくりです。市に設置された委員会による行政改革大綱の趣旨を踏まえ、行政経費の効率的な運用に努めます。

次に、国民的課題である地域改善対策事業については、特別措置法による期限、五年以内に完成させるよう小集落地区改良事業を実施し、関係地区の環境改善を図ります。

第三に、次代の南国市を背負う人材教育が極めて重要であると考えるので、教育環境の整備を進め、老朽木造校舎と不足教室を解消し、さらに幼少年の養育諸施設の充実に努めます。

第四に、県下で最も恵まれた好条件を生かし、企業誘致に力を注ぎます。付加価値が高く、公害の少ない優良企業の誘致により、産業の活性化と市民所得の向上、ひいては市の財政基盤の確立を図ります。また、農林漁業全般にわたり、田園都市南国市の一次産業振興にも最大限努力します。同時に高齢化社会が進むなかで長寿社会にふさわしい恵まれた自然環境を守り続けなければなりません。

加えて、県のプロジェクトのなかの空港のジェット化、医科大学の誘致などに伴う諸施策や、高速道路、高知新港、国道県道新設改良などに協力しながら、新しい南国市を見つめて着実に歩みを続けます。

市長に望む

馬場浩司さん（南国市連合青年団長）

税金の効率的な運用と、固定資産税の引き下げや税の平等な徴収を実施してほしい。南国市は文化施設や体育施設が足りないので常時青年が使えるような施設を整備してほしい。また、児童生徒の交通マナーを高めるために学校教育に交通教育を取り入れてはどうか。

臨時市議会

議長に門田益治氏

副議長に山本昇氏

市議会議員選挙後、初の組織議会（第二百回議会臨時会）が十一月五日開かれ、第十八代議長に門田益治氏、第十七代副議長に山本昇氏が選ばれました。また、各常任委員、議会運営委員の選出も行われました。

監査委員に島内正雄氏

議会では、まず最年長議員である松岡幸壽氏が臨時議長となり開会。議長と副議長の選挙は、出席議員二十七人による単記無記名投票で行われました。結果は次のとおりです。（敬称略）

議長選挙

◎門田益治　一八票
山崎清重　四票
竹内淳輔　二票
吉村雅男　一票
小沢正澄　一票
松岡幸壽　一票

副議長選挙

◎山本　昇　一八票
小沢正澄　四票
山本弘志　二票
松岡幸壽　二票
（無効票　一票）

各常任委員、議会運営委員に選出されたのは別表の皆さんです。

また、任期満了に伴い、議会選出の監査委員として新たに島内正雄が選ばれました。

正副議長の紹介

門田益治議長（70）

昭和五十四年南国市議会議員に当選、現在三期目。総務常任副委員長、産業経済常任副委員長などを歴任。

山本副議長あいさつ

微力ですが議長を補佐し、豊かな南国市をつくろうと思います。

山本　昇副議長（63）

非常に困難と思うが、議員の皆さんの支援で議長の職を全うしたい。よろしくお願いします。

門田議長あいさつ

昭和五十四年南国市議会議員に当選、現在三期目。総務常任副委員長、産業経済常任副委員長などを歴任。前副議長。

議会議員を経て、昭和五十年南国市議会議員に当選、現在四期目。産業経済常任副委員長、教育民生常任委員長などを歴任。

常任委員会等委員名簿

委員会	委員
総務常任委員会	◎吉村雅男、○山崎清重、田島邦雄、山本弘志、北村　明、門田益治、島内正雄
建設常任委員会	◎筧　幸蔵、○竹内淳輔、土居鶴男、西岡照夫、中屋宏二、高島邦明、松木二郎
産業経済常任委員会	◎小沢正澄、○森尾　稔、中村朋子、溝渕　正、岡崎俊一、松岡幸壽
教育民生常任委員会	◎山岡誠喜、○紀伊肇、福田佐和子、今西忠良、窪田幸雄、山本昇、井上徳蔵
議会運営委員会	◎高島邦明、○竹内淳輔、今西忠良、田島邦雄、北村　明、中屋宏二、溝渕　正、井上徳蔵、山崎清重

◎＝委員長　○＝副委員長

市長に望む

門田早苗さん（南国市老人クラブ連合会長）

現在高齢化が急速に進展している。今後は老人福祉をめぐる環境も厳しくなると思うが、できることは自分たちも努力するので、特に弱い立場の老人に対する福祉が後退しないように今まで以上の心遣いをお願いします。

西森　律さん（南国市連合婦人会長）

文化会館建設の公約は私たちの永年の要望ですので、ぜひ実現を望みます。また、現在薄れかけている心の触れ合いを大切にするソフト面の行政も合わせてお願いします。